

第 18 回日本慢性期医療学会大阪大会 優秀演題

日本慢性期医療協会会長 武久洋三

大阪大会大会長 松谷之義

学術委員会委員長 清水祥史

平成 22 年 8 月 24・25 日に開催されました大阪大会「超高齢社会を支える慢性期医療」において、学術委員会委員による選考の結果、下記 10 演題を優秀演題として表彰致しました。

なお、研究成果を広く会員病院で共有する為にも、機関誌「JMC」への積極的な投稿を御願ひ致します。

演題 No.	発表形式	演題名	所属	発表者
B-11-1	PC	嘔吐、発熱などの胃ろう栄養困難例に対する胃ろう造影の試み	汐田総合病院	鈴木義夫
G-2-6	PC	365 日リハビリテーション体制導入後の検討 ～集中的なりハビリにより、更なる充実したサービスを目指す～	山口平成病院	津江尚幸
C-11-3	PC	Q O L 向上を目指す排泄ケアの取り組み	介護老人保健施設 ふじさか	阪本 等
C-10-3	PC	オムツ交換時の漏れをゼロに近づける ～排泄パターンに合わせたオムツ交換の効果～	北九州安部山公園 病院	橋本さくら
A-3-4	PC	呼吸器合併症に対する予防的呼吸ケアの取り組み ～第 1 報～	立神リハビリテ ーション温泉病院	徳留拓哉
D-7-2	PC	連携パス強化に向けた回復期リハビリテーション病棟におけるソーシャルワーカー(MSW)の取り組み	美原記念病院	加藤充子
E-3-4	PC	重度障害の脳血管障害患者における日常生活自立度の改善過程の特徴	熱川温泉病院	肥田圭司
A-3-6	PC	療養病床における平均在院日数短縮に向けて ～リハビリスタッフによる退院支援～	大谷リハビリテ ーション病院	杉田雄一郎
J-7-4	パネル	当院回復期リハビリテーション病棟における在宅復帰に関わる因子の検討	原病院	津留智鹿子
F-8-6	PC	いち早く患者様のもとへ ～申し送り業務の効率化を図り得たもの～	鳴門山上病院	吉村隆靖

なお、下記9演題は、抄録評価で優秀演題候補に選ばれましたが、惜しくも発表評価で選外となりましたが、いずれも素晴らしい成果を挙げているものですので、機関誌「JMC」への投稿をお待ちしています。

演題 No.	発表 形式	演題名	所属	発表者
B-10-3	PC	長期経管栄養患者への経口摂取再開の試み	千木病院	高田千嘉
F-10-6	PC	離床時間の増加を目指して	宮地病院	林 美紀
A-2-6	PC	頻回のナースコールに対する「先取り看護」の効果	旭ヶ丘病院	花房智典
G-1-4	PC	脊椎圧迫骨折の治療成績について	中洲八木病院	井関博文
I-8-2	パネル	刻み食から「やわらか食」への取り組み	聖ヶ丘病院	日野 恵
C-1-1	PC	繰り返す褥瘡を減らすための試み 視覚的対策の重要性	池田病院	中島彰子
E-2-2	PC	認知症患者への学習効果の検証 ～介入頻度別による効果比較～	香椎原病院	上妻真由美
D-1-5	PC	アルカリ水で胃瘻部のタダレが良くなった	木戸病院	佐々木こずえ
E-8-2	PC	タクティ - ルケアがもたらす効果 ～不眠症状のある患者に試みて～	大宮共立病院	新井裕子

平成 21 年度日本慢性期医療協会機関誌「JMC」 優秀論文

日本慢性期医療協会会長 武久洋三

学術委員会担当副会長 中川 翼

学術委員会委員長 清水祥史

平成 21 年度に日本慢性期医療協会機関誌「JMC」に掲載されました論文から、学術委員会委員による選考の結果、下記 2 論文を優秀論文として第 18 回日本慢性期医療学会大阪大会において表彰致しました。

掲載号	論文名	所属	発表者
第 65 号	要介護高齢者における高齢者栄養リスク指標を用いた栄養評価の検討	平成の森・川島病院	坂井 誠
第 62 号	高齢者の PEM 改善のための必要栄養量算出方法	博愛記念病院	倉本悦子